○あづまぎく類ノ所屬ニ就テ (北川政夫)

あづまぎく類ハ通常 *Erigeron* ト考ヘラレテキルガ最近此類ヲ *Aster* ニ合一スル學者モアル。

數年前北朝鮮ノ高山デ又一昨年ハ長白山ノ頂上附近デみやまあづまぎくヲ採リ、本年ハ大興安嶺ノ高原デたいりくあづまぎくヲ充分ニ觀察スル機會ヲ得タ。たいりくあづまぎくハ十二年程前ニ伊列克得(イレクテ)附近デ採集シタガ學名不明ノ儘デキタ所偶々東京帝大ノ教室ヲ訪レラレタ京都帝大ノ北村四郎博士ニ早速伺ツタ所卽座ニ *Aster alpinus* LINNAEUS デアルコトヲ教示サレタ。成程一見 *Erigeron* ノ如クデハアルガヨク見レバ明ラカニ *Aster* デアル。其以來私ハたいりくあづまぎくハ *Aster* デアリ所謂あづまぎくノ類ハ *Erigeron* デアルト信ジテキル。所ガ此頃ニナツテ ONNO ト云フ外國學者ヲ筆頭ニあづまぎくヲ *Erigeron* ヨリ放チ *Aster* ニ入レル人モ次第ニ出テ來タ。

今試ミニたいりくあづまぎくトみやまあづまぎくトヲ比較シテ見ルニ、双方共一莖一頭ノ可憐ナ草本デアル。一見シタ所實ニ相似タモノノ如クデアル。然シ注意シテ觀察スレバ自ラ明瞭ナ區別點ガ見出サレル。先ヅ第一ニ毛ノ性質デアル。コレハ前川博士モヨク私ニ語ラレタコトデアツテ *Erigeron* ニ於テハ特殊ナ軟イ多細胞ノ長毛ガ見ラレルガ *Aster* デハカヤウナ例ヲアマリ聞カヌヤウデアル。今たいりくあづまぎくノ總苞片ヲ檢スルニ單細胞ノ尖ツタ毛ガ生ジテ居リ、みやまあづまぎくノソレニハ軟質多細胞ノ長毛ガ蔽フテキル。後者ノ狀ハむかしよもぎ等ト全ク變ル所ガナイ。次ニ總苞片ノ長サガ內外ニ依ツテ長短ガ明ラカニ異ツテキルノガたいりくあづまぎくデアリ、內外ノ片ガ略同長デアルノガみやまあづまぎくデアリ、コノ點モむかしよもぎト軌ヲ一ニスル。第三ハ舌狀花デアルガ、舌部ガ稍廣ク淡青紫色ヲ帶ビテよめな又ハえぞぎく(野生品)ヲ偲バセルヤウナ感ジヲ與ヘルノガたいりくあづまぎくデアリ、舌部ガ狹ク質モ軟カデ紅紫色ヲ帶ビ、舌狀花ノ數ノ多イノガみやまあづまぎくデアル。

結局スル所たいりくあづまぎくハ *Aster* ノ、みやまあづまぎくハ *Erigeron* ノ特徵ヲ立派ニ具備シテキルノデアル。私ハ何故ニあづまぎく群ダケ *Erigeron* カラ引離シテ *Aster* ニ入レナケレバナラヌカ其理由ガ一向ニ判ラナイ。

「感ジ」デ植物ヲ分類スルナドトハ全ク非科學的デアツテ決シテ許サルベキデハナイデアラウ。然シ標本デ見較ベテコンナニ相違シタ形態ノモノガ何故同ジ屬ニ入ツテキルノダラウト考ヘテ不滿ヲ覺エテキタガ、サテ野外ニ出テ實際ニ兩植物ノ生育シテキル姿ヲ見ルニ及ンデハツトスルコトガアル。成程何處カニ兩種ガ相離ルベカラザル容貌ヲ帶ビテキルコトニ氣付キ先人ノ明ニ頭ガ下ルノデアル。私ハあづまぎく類ヲ *Erigeron* ト考ヘタ古イ學者モ矢張リコノ烱眼ヲ持ツタ人デハナカツタラウカト考ヘル。

○Roegneria Gmelini KITAGAWA (北川政夫)

Roegneria Gmelini ト云フ組合セハ「滿洲國植物考」ニ於テ發表シタモノデアル。和名ニこかもじぐさ及ビいぬかもじぐさヲ使用シタノハ誤リデアツテコノ植物ハ滿洲デハ興安嶺方面ニノミ見ラレ、恐ラクソレヨリ東部ヘハ及ンデ居ラヌデアラウ。從ツテ玆ニこうあんかもじぐさノ新名ヲ與ヘル。私ハ北鮮ヤ日本ニ產スル本種類似ノ植物ハ別種ト考ヘテキル。北鮮ノ高山ヤ長白山ノ頂上近クニ生育スルモノニハ旣ニはくとうかもじぐさノ名ヲ付ケタ。

露國ノ NEVSKI 氏ハ 'Flora URSS' ニ於テ *Roegneria Turczaninovii* (DROBOV) NEVSKI ト云フ新組名ヲ試ミ大井次三郎博士ハ *Agropyron Turczaninovii* DROBOV ヲ採ツテ *Agropyron Gmelini* SCRIBNER & SMITH ト云フ古イ名ハ捨テ去ツテヰル。SCRIBNER, SMITH 兩氏ハ誤ツテ米國産ノモノヲ西比利亜産ノ *Triticum caninum* LINNAEUS var. *Gmelini* GRISEBACH ト考定シテコレヲ種名ニ改名シタガ、ソノ新種名ハ命名規約ニモ規定サレテヰルヤウニ西比利亜ノ原植物ノ名トシテ用ヰナケレバナラヌ。NEVSKI 氏ガ *Roegneria Gmelini* トシナカツタ理由、又大井氏ガ *Agropyron Gmelini* SCRIBNER & SMITH ヲ使用サレヌ理由、コレハ既ニ *Agropyron Gmelini* SCHRADER ト云フ先行名ガ他植物ニ附ケラレテヰルカラト云フ點ニアル。私ハ NEVSKI 氏ガ *Agropyron Gmelini* SCHRADER in Linnaea XII (1838) 467 ト引用シテヰル文獻ヲ見ナクテハナラヌト東京帝大ノ教室ヲ訪レタ際早速 Linnaea ノ第 12 卷ヲ開イテ眼ヲ皿ニシテ *Agropyron Gmelini* SCHRADER ノ名ヲ探シタガ 467 頁ニハ單ニ *Triticum Gmelini* TRINIUS ノ名ガアルノミデ *Agropyron* トノ組合セ名ハ全ク見當ラズ啞然トシタ。私ノ眼ガ悪イノカ教室ノ Linnaea ガ原本デハナイノカ。今ノ私ニモ判ラズ困ツテヰル。'Index Kewensis' ヲ調ベテモカヤウナ名ハ發見出來ナイ。識者ノ御批判ヲオ願ヒスル次第デアル。

○このうぜん（新稱）（久内清孝）

7 月カラ 9 月ニカケテ咲クのうぜんかづらノ 1 種ヲ往々東京市内デ見受ケル。其概形ハのうぜんかづらニ酷似シテ、全體ガ幾分小形デ且ツ花冠裂片ガ短ク、花色ガ濃イ。學名ハ *Campsis radicans* SEEM. デ、米國南部諸州ノ庭園ニ栽培サレ、中華民國デハ既ニ「美國凌霄花」ナル名ヲ與ヘテ、自國産ノ凌霄花卽チのうぜんかづらト區別ヲシテ居ルガ、和名ハ無イ樣デアル、依テ之ヲこのうぜんと呼稱セントス。標準品ハ東京帝大ノ池ノ端口通用門ヲ入ツタ正面ニ存在スルモノデアルガ、上野公園其他ニモ稀デハナイ。以下其外部形狀ヲ略記スル。

蔓性ノ木本デ、短イ氣根ヲ簇生シテ他物ニ纏絡シ、樹皮ハ淡褐色ノ木栓片ニ被ハル。若枝ハ綠色、微細毛ト、縱軸ノ方向ニ走向スル小皮目ガ認メラレ節ニ毛ガアル。葉ハ對生シ、奇數羽狀複葉ヲナス、中軸ニ散生毛アリ。全形概シテ橢圓形、長サ 20 cm 幅 6 cm。小葉片ハ 5〜11 個、基部ニ毛叢ヲ具フ。各片ハ概形卵狀披針形又ハ卵狀橢圓形、粗齒緣—齒數ハ各側 4〜5—基部ハ楔形狀デ延長シ小柄ニ移行スル。尖端部ハ漸尖性銳頭、裏面脈上ニ粗毛アリ、長徑 1〜5 cm 幅 0.8〜3.5 cm。花ハ短梗ヲ具ヘ、總狀花序ニ着ク。蕚ハ筒狀、綠色ナルモ後ニ花色ニ類スル色彩ヲ帶ブルニ至ル、其長徑約 2 cm 邊緣 5 裂ス、各片ハ廣披針狀、尖端尾狀ヲ呈シ、長サ約 0.5 cm。花ハヤヽ單軸性、赤黃色、花冠ハ蕚筒ヨリ離脫スル。花筒部ハ全長 6 cm 最大幅員 1.5 cm 其中部以下約 2 cm ハ狹搾スル。花冠裂片ハ 5、圓頭、長徑 0.5〜1 cm 横徑 1〜1.2 cm、邊緣ハ睫毛狀突起ニ依リ周匝サル、色ハ內側ニ於テ濃厚ナリ。下方ノ 2 片ハ他ノ 3 裂片ニ比シ幾分大ナリ。雄蕊ハ 4 本、花筒內壁中下部ヨリ合生スル、內 2 本ハ長サ 3 cm、2 本ハ 2.5 cm 卽チ各對ヤヽ異長。雌蘂ハ全長 5.5 cm 許。子房部ハ紡錐狀、長サ長徑 1.5 cm。花柱ハ長サ 4 cm、柱頭ハ 2 瓣ニ分岐シ、各片ノ邊緣ニハ鷄冠狀ノ缺刻アリ。花ハのうぜんかづら同樣多クハ花梗ノ關節ヨリ落花シ多クハ稔ラザルモノヽ如ク、余ハ未ダ果實ヲ目睹セズ。渡來ノ年代ハ之ヲ知ルニ由ナキモ、現在存在スルモノハ樹齡ヨリ判斷スルニ、最近來レルモノトハ思ハレズ、或ハ多年のうぜんかづらト混同サレ居タルモノナラン歟。